

新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見や差別を防止するための指導にあたって

福岡県教育センター

新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見や差別の問題が発生しています。学校においては、児童生徒に対する偏見や差別、いじめの発生を防止するため、児童生徒に正しい情報に基づく適切な判断・行動をとるための指導が求められています。

本資料では、日本赤十字社が作成したスライドを紹介しています。下記の活用例を参考に、臨時休校中や学校再開後の指導等、学校の実情に応じて御活用ください。

<活用例>

- ① 日本赤十字社のホームページ（下の URL）からダウンロードし、児童生徒に配布する。

http://jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

- ② その際、以下の児童生徒配布プリント（例）を参考に、プリントを作成して添付する。

児童生徒配布プリント（例）

新型コロナウイルスを理由にした偏見や差別、いじめをなくすために

〇〇立〇〇〇〇学校

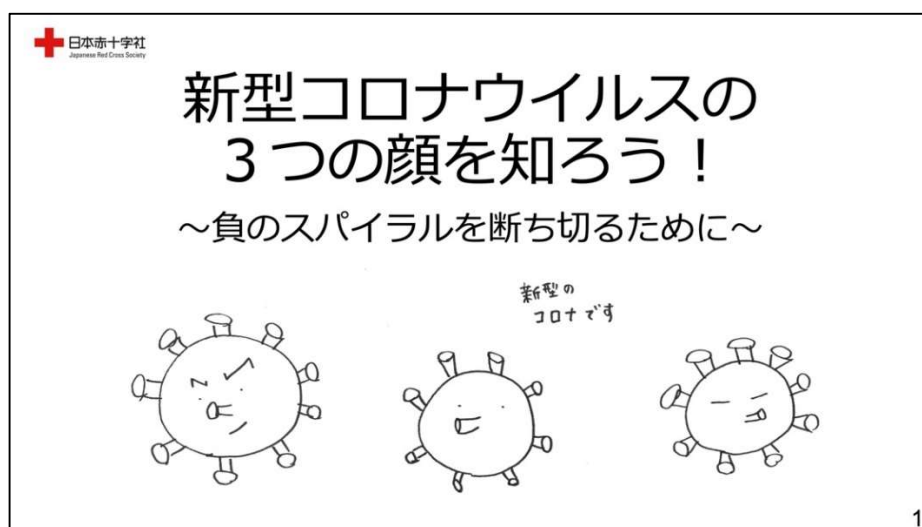
新型コロナウイルスが世界に広がり、我が国においても「緊急事態宣言」が出されました。みなさんも臨時休校が長期化し、不安な毎日を過ごしていることでしょう。そのような中、ウイルスに感染した人とその家族、懸命に対策や治療にあたっている医療従事者とその家族等に向けられた偏見や差別の問題が起こっています。

このようなことは、決してあってはならないことです。今大切なことは、なぜ偏見や差別が起きてしまうのかを正しく理解し、一人一人が自分の行動を見つめ直すことです。

ここで紹介する日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を読んで、偏見や差別、いじめをしないために私たちが取るべき行動について考えましょう。

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

日本赤十字社



ダウンロード URL

http://jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html